まきばでひとやすみ。

この1ヶ月は本当にありとあらゆる出来事が詰まった日々でした。娘の幼稚園卒園、長男の小学校卒業。毎日にぎやかな春休みを経て、小学校入学と中学校入学。沢山の温かな思い出と出会い、成長を思い、涙を流し、そして新たな門出。親子共々、ドキドキとワクワクとを胸に、あっという間に新生活が幕を開けました。そして子どもらそれぞれの生活とは別に私もまた大きな区切りを迎えました。ちょうど1年前にスタートした教会での弟子訓練が終了したのです。毎週10個の課題、そのうち3つはレポート提出。始める前はそんなの私にはキツすぎる、無理かも…という恐れで一杯でしたが、いざ始まると不思議とできてしまうのです。恵みのシャワー！自分を見つめ、神様との関係を見つめ直す時間。それまでいかに時間を無駄使いしてたかを示され、生活の軸も見直したり、夫婦のこと、子どものこと、周りの人、物事への関わり方…とにかくあらゆることを探られ、チャレンジを受けましたがそれら全て祝福でした。苦しさより、楽しさ喜びが勝りました。それは神様がいつも共にいたからであり、神の家族の祈りと励ましによって強められ、共に訓練を受ける仲間と、伴走して下さった牧師のおかげでした。この学びの中で、特に強められた子どもたちへの祝福継承への思い。私の夫はまだクリスチャンではないので様々な苦難があります。夫が救われることはもちろん大きな課題ですが、今毎週楽しく教会に通う子どもたちが絶対に神様の祝福からとりこぼされることがないように、と強く願い、今は毎晩信仰告白を共に唱え、主の祈り、日々の祈りをしています。この春の節目に、子どもたち3人各々に名前にちなんだ聖書の言葉を、意味と願いを込めて、改めてor新たに、贈りました。子どもたちの新学期は嬉しい再会や喜びと共に始まり、神様の計画に胸を踊らせています。弟子訓練の終了は新しい始まりでもある…！ロバ子